

19年度予算を探る

第8次総合発展計画事業を推進

予算特別委員会は、3月6日から9日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に佐々木良一郎委員を選出。4日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など9会計の平成19年度当初予算を審議しました。財政問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。

総括質疑



織笠川河口の水門工事のため「アサリまつり」は約10年間開催されません

今年度予算のセールスポイント

問 今年度予算のセールスポイントは。特に重点を置いている事業は。

企画財政課 第8次総合発展計画を推進すること。主な事業は、「山田地区公共下水道」区画整理事業、「長林大浦線改良」「豊間根石峠橋改修」である。また、住民協働が動き出すので、コミュニティ施設に対する施設整備補助、地域づくり活動支援を行う。産業振興については、特に水産振興のため各漁協への新規事業に対する支援、カキ・ホタテ共済への支援、定置網漁業への資金の利子補給がある。

問 予算をこれ以上減額できる要素は無いのか。

助役 年間に必要な予算を計上しており、予算査定段階でスリム化している。人件費、扶助費、建設事業費のバランスを見ながら財政が硬直化しないよう、更に切り詰めていく。

漁協合併を支援する予算措置を

問 漁協合併を支援するための予算措置を。漁協の遊休資産を取得するなど、側面から支援できないか。

産業振興課 各漁協の利子補給を行うなど、財務改善の支援をしている。合併は、漁民・漁協の系統団体が本気にならないと進展し

ない。遊休資産の取得については、町の事業を行う上で必要な場合は購入する。

漁協との協力で密漁の監視強化

問 漁協と町が協力して密漁の監視体制強化を。

産業振興課 暴力団が関係しており、民間だけでは難しい。県警、取締り事務所、漁協監視員、漁民の協力・連携が必要である。

産業振興の予算 昨年度との比較は

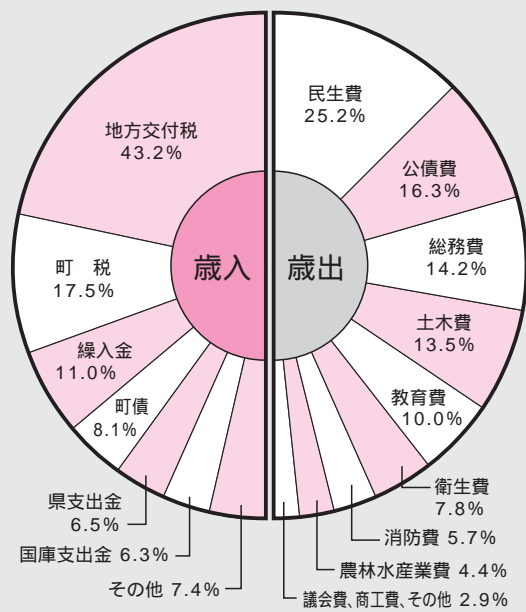
問 産業振興の予算は、昨年と比べてどうか。

企画財政課 昨年度と比較して0・1%増である。



平成19年度予算額

◆一般会計 65億9,125万円



◆特別会計など

国民健康保険	25億9,716万円
老人保健	18億395万円
介護保険	13億160万円
介護保険(サービス事業勘定)	400万円
簡易水道事業	8,679万円
漁業集落排水処理事業	1億3,217万円
公共下水道事業	4億909万円
水道事業	収益的収入 2億8,694万円 収益的支出 2億7,120万円

参考

1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (19年4月1日現在 7,231世帯)

民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	229,433円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	148,767円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	129,160円
土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	122,680円
教育費 (小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	91,556円
衛生費 (各種検診やごみ処理に使われる経費)	71,094円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	39,845円
その他 (消防費、議会費、商工費など)	78,991円
合計 (1世帯当たり)	911,526円

問 今年「アサリまつり」を行わないようだが、場所を変え実施できないか。

産業振興課 織笠川河口では、水門工事の関係で約10年間実施することができない。浦の浜は干潮時でも

「アサリまつり」を開催できないか

問 今年「アサリまつり」を行わないようだが、場所を変え実施できないか。

産業振興課 織笠川河口では、水門工事の関係で約10年間実施することができない。浦の浜は干潮時でも

農業振興のため耕作放棄地の復元

問 農業振興のため耕作放棄地の復元を。

産業振興課 ピーマン、キュウリ、ホウレン草、リンドウなどに産地づくり交付金が出ている。遊休農地解消作物として、ソバ、シソに取り組む人には交付金が交付される制度もある。18年は、約830万円交付している。

山田高校への進学希望者が増えた要因

問 山田高校への進学希望者が定員をオーバーした。進路指導の成果か。

教育長 山田高校による魅力発信の成果だと思える。来年は山田中学校の卒業生が今年より20人多くなる。進路指導により力を入れていかなければならない。

役場職員の給与は高いのではないか

問 地域の実情を考えた場合、役場職員の給与は高いのではないか。

助役 人事院勧告に基づき支給しており、妥当な金額だと思う。昨年は平均4・8%のマイナスであった。人件費抑制は、行政改革大綱により進める。



4日間に及んだ予算特別委員会新年度予算について活発な議論が交わされました